



ニュース

# 第40号

2012年7月25日発行  
トップス広島 事務局  
〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2  
広島西飛行場ターミナルビル1F  
TEL ; 082-233-3233 FAX ; 082-233-3251

URL ; [www.tops-h.net](http://www.tops-h.net)

ニュース

- \*加盟団体\***
- ・ NTT西日本広島
  - ・ サンフレッチェ広島
  - ・ JTサンダース
  - ・ 湧永製薬
  - ・ 広島メイプルレッズ
  - ・ 広島ガスバドミントン部
  - ・ ソフトテニスクラブ
  - ・ 中国電力陸上競技部
  - ・ コカ・コーラウエスト
  - ・ レッドスパークスホッケー部
  - ・ 広島東洋カープ

## 中国電力 岡本7位

中国電力  
陸上競技部

# 7年ぶりの優勝！！

## 高松宮記念杯第2回全日本社会人選手権大会



7月1日に札幌で行われた、第55回札幌国際ハーフマラソンに中国電力の岡本直己選手、佐藤敦之選手、米澤類選手の3選手が出場した。岡本選手が1時間2分50秒で7位が最高だった。また、7月22日に北海道士別市で第26回士別ハーフマラソン大会が開催され、中国電力陸上競技部からは池淵智紀選手が出場した。1位と4秒差の2位で準優勝に輝いた。結果は以下の通りです。

札幌国際ハーフマラソン

順位	名前	記録
7位	岡本 直己	1時間2分50秒
16位	佐藤 敦之	1時間3分36秒
37位	米澤 類	1時間5分24秒

士別ハーフマラソン大会

順位	名前	記録
2位	池淵智紀	1時間5分4秒



7月4日から8日に仙台市で開催された高松宮記念杯第2回全日本社会人選手権大会で7年ぶりの優勝を勝ち取った。決勝戦では時間内では決まらず、延長戦に突入。お互いに譲らず7メートルスローコンテストで3人連続阻止し、優勝を決定づけた。その神業を成し遂げた堂面妙子選手はMVP

を獲得。そして、優秀監督賞に呉成玉監督ベストセブンには広島メイプルレッズから宋海林選手、早川志歩選手、高山智恵選手が獲得した。

また7月20～22日に東区スポーツセンターで開催された第17回ヒロシマ国際ハンドボール大会で1勝1敗と第2位という結果に終わった。次回はリーグ日本一を奪還すべく猛練習にんでいる広島メイプルレッズ。ぜひ広島に優勝カップを持ち帰ってもらいたい。

## 湧永優勝！！ 志水が最優秀選手賞を獲得！



7月20日(金)～7月22日(日)に行なわれた第17回ヒロシマ国際ハンドボール大会においてワクナガレオリックが優勝を果たした。20日に行なわれた日本代表戦では、前半から一進一退の攻防が続く接戦になるも後半にGK志水の好守もあり27-23の4点差で勝利した。初日の勝利で勢いに乗った湧永は翌21日の中国上海との試合も一時は3点差まで詰め寄られるも最後に突き放し30-23で勝利し、優勝を決めた。志水孝行キャプテンが最優秀選手賞を、佐藤智仁選手が優秀選手賞を受賞するなど個人としても湧永を印象付けることのできた大会となった。

マエケン最優秀選手賞  
マツダオールスターゲーム

7月20日から23日までの「マツダオールスターゲーム2012」にカープから4選手が選出された。ファン投票の先発投手部門トップの前田健太投手に続いて、大竹寛(3年ぶり3度目)、野村祐輔(初)両投手が監督推薦で選ばれ、プラスワンドリームファン投票で堂林翔太内野手が初めての球宴に進んだ。4月にノーヒット・ノーランを演じたエース前田健は防御率トップ(1.40)、で前半を折り返すなど好調を維持している。

球宴2戦目に先登板し、3回1安打無失点に抑え、投手では2004年の松坂大輔(西武)以来の最優秀選手(MVP)に輝いた。ルーキー野村は背中の張りで登板を回避した時期があったものの7勝(3敗)、防御率は前田健に次ぐ2位の1.41の好成績。新人らしからぬ落ち着いたマウンドさばきと制球力が際立つ。球宴でも3回を28球で1安打無失点と堂々の投球で敢闘選手賞に選ばれた。

チームは2度の5連勝で、最大11あった借金を返済し、勝率5割で前半を折り返した。Aクラスでの後半戦突入は実に15年ぶり。球宴後は上位戦線に挑む勝負の夏となる。



	湧永製薬	日本代表	中国上海	順位	
湧永製薬	○	27-23	○	30-23	1位
日本代表	●	23-27	○	37-23	2位
中国上海	●	23-30	●	23-37	3位

# さくらジャパン CCW から 2 名選出



駒澤李佳選手



三橋亜記選手

6月14日(木)に東京都岸記念体育会館に於いて日本ホッケー協会から「第30回オリンピック競技大会2012年ロンドン大会女子ホッケー日本代表(さくらジャパン)16名の選手団が発表された。レッドスパークス ホッケー部からは、駒澤李佳選手、三橋亜記選手の2名が選ばれた。さくらジャパンは、2010年11月の中国、広州で開催されたアジア大会では第3位の成績で大会出場権獲得にはなりませんでしたが、2011年4月25日～5月6日に岐阜県で開催されたロンドン五輪最終予選で優勝し、アテネ、北京に続き3大会連続出場を決めた。予選リーググループAではイギリス、中国、韓国、ベルギー、オランダと苦戦が予想される予選リーグですが予選突破を決めて欲しいと思う。初戦は開催国イギリスと当たりさくらジャパンへの期待も膨らみそうだ。前回の北京オリンピックでは10位と入賞に届かなかったがロンドン五輪では日本に勇気を与えてくれるためにもメダルをとれるようにフィールドで可憐なさくらを見せてもらいたい。

## 小林・中野組準優勝！ 西日本ソフトテニス選手権大会



小林美咲選手

7月21日、7月22日に佐賀県総合運動場庭球場にて第66回西日本ソフトテニス選手権大会が行われた。度重なる豪雨の中で行われた試合では女子が準決勝で劇的勝利をしたが、惜しくも決勝では惜敗した小林・中野ペアが準優勝。小林美咲選手は入社2年目での準優勝となった。男子は村上・中本ペアがベスト8に入り天皇賜杯出場権を獲得した。7月28日、29日に世田谷区立総合運動場庭球場、大蔵第二運動場庭球場で平成24年度全日本実業団ソフトテニス選手権大会が行われた。

全日本実業団選手権は秋に開催される日本リーグとともに社会人チーム戦の最高峰のトーナメントである。また国体のリハーサル大会として国体開催地での開催の前年に開催される。男子は、ベスト16。女子は、決勝まで進んだものの、惜しくも準優勝という結果であった。男女ともに次の大会に期待したい。



**\* ロゴマークの意味 \*** 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

## 古市小学校で Do スポーツ！開催



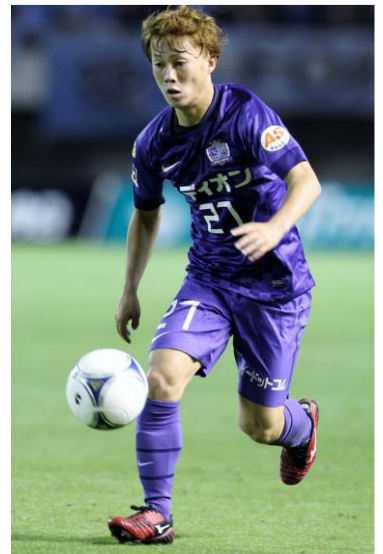
JTサンダーズは、6月29日(金)に古市小学校を訪れ、Doスポーツを行った。Doスポーツとは、広島市教育委員会が主催し、広島市内の小中学校へトップスの各クラブの選手・コーチが赴き、体育の授業などで子供達に指導することである。今回は、安永選手、國近選手、小澤選手、塚崎選手、井上選手、丹山マナージャーの計6人が参加した。このDoスポーツで、選手達は子供達にバレーボールの楽しさや魅力を伝え、楽しく、笑顔で交流した。

## 18年ぶりの首位 サンフレッチェ広島



サンフレッチェ広島が1994年以来18年ぶりに首位に立った。快進撃を続けるチームを引っ張るのはこの日もエース佐藤寿人だ。7月14日J第18節 川崎フロンターレ戦。この日は開始早々試合が動く。前半2分左コーナーからのクロスでMF清水がダイレクトで蹴り込み先制。清水はこれがJ初ゴール。幸先の良いスタートを切ったサンフレッチェ広島は攻撃の手を緩めない。15分佐藤寿人が相手GKのミスに付け込み追加点を挙げる。さらに19分佐藤が頭で押し込み試合を決定づけた。守っても守護神西川を中心としたDF陣が川崎フロンターレを完封。3-0でサンフレッチェ広島が勝利した。この結果

と0-0で引き分けた仙台に勝ち点36、得失点差19で並び、総得点で3点上回ったサンフレッチェ広島が首位に立った。この日も2ゴール。得点ランキング14得点でトップを独走するエース佐藤寿人はチーム18年ぶりの首位浮上を受けて、「これからは追われる立場でリーグ戦を戦っていく。そのプレッシャーと戦いながら、自力でタイトルを取る資格はあると思うので頑張っていきたい」と気を引き締めていた。18年前は前期優勝こそしたものの年間2位と惜しくもJ制覇はならなかった。今年こそ念願のJ制覇に向け団結する時だ。



Jリーグ初出場の清水選手